

## はしがき

著者	高田 智和
雑誌名	米国議会図書館蔵『源氏物語』翻字本文 匂宮～夢浮橋：平成24年度 人間文化研究連携共同推進事業「海外に移出した仮名写本の緊急調査（第2期）」報告書
発行年	2013-03-25
URL	<a href="http://doi.org/10.15084/00002608">http://doi.org/10.15084/00002608</a>

## はしがき

本報告書は、米国議会図書館アジア部日本課 (Library of Congress, Japanese Rare Book Collection) が所蔵する『源氏物語』(以下、議会図書館本『源氏物語』)の「匂宮」から「夢浮橋」までの十三巻の翻字本文を提供するものである。二〇一一年三月に「桐壺」から「藤裏葉」までの三十三巻(いわゆる「第一部」)、二〇一二年三月に「若菜上」から「幻」までの八巻(いわゆる「第二部」)の翻字本文を刊行し、本報告書はその続きとして最後の「第三部」を公表するものである。

議会図書館本『源氏物語』(LC Control No. 2008427768)は、二〇〇九年に米国議会図書館の所蔵となるまで知られていなかった学界未紹介の新出資料である。後装の濃青色表紙、料紙鳥の子、列帖装立ての全五十四冊揃いの書写本である。古筆了仲による正徳元年(一七二一年)の極めがあり、それによれば、五辻諸仲(一四八七年〜一五四〇年)の書写とされる。本文の系統などについての詳細な検討は、今後の研究を俟たねばならないが、まずは、議会図書館本『源氏物語』の翻字本文と書誌調査報告を公表する次第である。議会図書館本『源氏物語』の原本調査は、二〇一二年八月までに、予備調査一回、詳細調査三回の計四回実施した。

〔予備調査〕

二〇一〇年一月二五日〜二七日

〔詳細調査〕

一回目 二〇一一年一月二四日〜二五日

二回目 二〇一二年二月一日〜三日

三回目 二〇一二年八月二七日〜二九日

三回にわたる詳細調査は、新出資料である議会図書館本『源氏物語』の基礎調査の意義とその必要性により採択された人間文化研究機構の人間文化研究連携共同推進事業(平成二十二年度「海外に移出した仮名写本の緊急調査」、平成二十三〜二十四年度「海外に移出した仮名写本の緊急調査(第二期)」)、いずれも代表者・高田智和の一部として実現した。

本報告書に公表する翻字本文は、主として二〇一二年八月の詳細調査の結果をふまえたものである。この調査には、高田智和(国立国語研究所)、斎藤達哉(専修大学)、神田久義(國學院大學)の三名が参加した。

また、議会図書館本『源氏物語』の翻字本文は、国立国語研究所ホームページ(<http://www.ninjal.ac.jp/LCgenji/>)において、オンライン公開も行う。この翻字本文が、源氏物語本文研究や仮名表記研究の資料として、一助となれば幸いである。

議会図書館本『源氏物語』の原本調査にあたっては、米国議会図書館アジア部日本課の伊東英一氏、中原まり氏、PIPPER・Y清代氏に格別の御高配を賜った。ここに記して謝意を表す。

平成二十五年三月

高田 智和(国立国語研究所)